

一般質問

6月21日(木)、22日(金)の2日間にわたり、18人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたる問題について、市当局の見解を求めました。

質問者

- 西 牧 秀 乘 (政 友 会)
- 岡 部 信 一 郎 (市 政 ク ラ ブ)
- 森 下 清 秀 (政 友 会)
- 寺 口 正 宣 (公 明 党)
- 笠 井 秋 夫 (政 友 会)
- 大 澤 幸 一 (フ ォ ー ラ ム 桐 生)
- 中 田 米 蔵 (日 本 共 産 党)
- 阿 久 津 成 璋 (政 友 会)
- 石 井 秀 子 (桐 愛 会)
- 小 滝 芳 江 (フ ォ ー ラ ム 桐 生)
- 飯 山 順 一 郎 (政 友 会)
- 岡 部 純 朗 (市 政 ク ラ ブ)
- 関 口 直 久 (日 本 共 産 党)
- 鈴 木 輝 且 (公 明 党)
- 下 田 文 男 (フ ォ ー ラ ム 桐 生)
- 蛭 間 利 雄 (市 政 ク ラ ブ)
- 園 田 恵 三 (フ ォ ー ラ ム 桐 生)
- 佐 藤 貞 雄 (日 本 共 産 党)

市民サービスとは

質問 市役所の市民に対するサービスは、課や係が行うものではなく、職員一人一人がどのように行動するかによるものと思うがどうか。また、今後の社会情勢を考えると、課・係を減らしてスリムな行政運営に取り組むべきではないか。

答弁 事務分掌に基づき、組織を通じて職員一人一人がそれぞれの業務を行い、市民サービスに努めることが重要と考えている。また、時代にあった組織について

も、今後検討していきたいと考えている。

シルバーハウジング

質問 間ノ島団地のシルバーハウジング建設では、計画策定委員会の計画が実施設計の段階で構造とコストの関係から変更になったが、生活援助員への相談状況等と最上階に配置した団らん室の利用状況はどうか。

答弁 平成十二年度の生活援助員への相談や活動状況は、生活相談六十九件、住宅課等への連絡調整十五

件、緊急通報システムによる救急車出勤依頼一件・誤報の対応二十五件であった。団らん室の利用は、月に一回から二回程度であった。



シルバーハウジング相談室

道路特定財源

質問 現在、制度の見直しが話題となっている道路特定財源は、受益者負担の考えに基づいて、道路整備費の負担を自動車利用者に求める制度であるが、桐生市の道路整備事業において、道路特定財源が占める割合はどの程度なのか。

答弁 平成十一年度の道路関係の決算額に対して道路特定財源の占める割合は二六・六パーセントで、道路特定財源を充当している国庫支出金をあわせると



毎日の生活に欠かせない道路

約五十パーセントになる。

メールマガジン

質問 小泉首相のメール

マガジンが反響を呼んでいる。若い人にも親しみやすいメディアを通じて、首相の考えや政策等を分かりやすく情報発信している。桐生市でも、より多くの市民に市政を理解し、協力してもらうために、市長のメールマガジンを開設する考えはあるか。

答弁 小泉首相のメールマガジンには約八十万人の登録があるようだが、その対応には多額の費用と職員数が必要になっており、聞いており、今後の研究課題としたい。

水道管の工事

質問 水道管の年間の工事量はどの程度か。また、同一道路内に数本の給水管が埋設されている場所があるが、どう考えているか。

答弁 新設工事が約四千メートルで、老朽管の布設替工事が平成九年度から十二年度までの年間平均で約二千メートルである。また、複数の給水管が埋設されている場所については、維持管理上好ましくない。さらに公道の場合には漏水防止対策の面からも、その統廃



水道管の工事現場

合を「輻輳管路整理」として実施している。

小口資金と保証協会

質問 小口資金に対する保証協会の関わりと損失補てん金について聞きたい。

答弁 小口資金はすべて保証協会の保証付けがあり、保証料率は市と県の補助があるため、年〇・〇六から〇・一八パーセントである。また、平成十二年度には、四千十四万六千四百円を損失補てん金として、市が負担している。なお、保証協会と中小企業総合事業団とが契約する保険金額は、中小企業信用保険法により規定されている。

落書きの被害

質問 最近になって、商店街や市有施設等で落書きの被害が目立って増えている



落書きの被害

が、この問題の解決には市民総ぐるみで落書き批判の世論を形成すべきであり、市当局と市民あがてのマルチ発想で取り組むことが必要ではないか。美しいまちづくりを進めることについてどう考えているか。

答弁 都市景観だけでなく、市街地の活性化等もあわせて、関係部局が一体となって対応していきたい。なお、市有施設の落書きは、すみやかに修復を行うとともに、被害届や告訴等、適切に対処したい。

塾からの深夜の帰宅

質問 学習塾で深夜まで勉強して自転車等で帰る子供たちがいる。子供の安全面と、就寝時刻が遅くなることによる健康面への影響が心配になるが、どう考えるか。

答弁 県青少年保護育成条例では、午後十時から翌日午前四時までは、青少年だけで外出させないよう努めなければならないとされており、家庭や補導委員等市民総ぐるみで健全育成に努めたい。

来年度の職員採用

質問 あらゆる業界で景気が悪く、リストラの記事を見ない日がないくらいである。まさに就職難の時代であるが、来年度は、職員を何人くらい採用するのか。また、現業職の募集はどのような方法をとっているのか。現業職から一般職への任用換試験については、年齢制限があるか。

答弁 来年度は、三十人程度の採用を見込んでいる。現業職の募集は広報きりゅうで周知を行っている。な

お、任用換えについては年齢制限はしていない。

レンタサイクル事業

質問 最近では、レンタサイクル事業を実施している自治体も見受けられるようになってきたが、桐生市でも実施できないか。また、このレンタサイクル事業に放置自転車を活用することは考えられないか。

答弁 放置自転車は、公示して六か月の保管期間を経過すると、放置した所有者の所有権が消滅すること

になり、リサイクルはすでに自転車商組合の協力で実施している。なお、レンタサイクル事業については、今後研究していきたい。



放置された自転車

自治体の役割と任務

質問 地方の時代と言われる中で、市民生活の向上を目指すために、国と地方の役割分担を明確にしたうえで、地方自治体の基本的役割と任務が何かを考えるべきではないか。

答弁 地方自治体がその役割と任務を果たすためには、財政力を高めることが重要であり、産業の活性化が必要である。そのためには、道路網の整備が重要課題であるとともに、国税と地方税の税配分が見直され

危険な道路の改修

ることが必要である。

質問 渡良瀬川左岸サイクリングロードのガードパイプの腐食がひどいが、改修計画はどうなっているか。また、旧南幼稚園と昭和橋間の道路は、通学路としても利用されているが、歩道がなく、自身の目で朝の交通量を確認したが、通行車両が多く危険である。全面改修の計画があるか。

答弁 ガードパイプは、管理者の桐生土木事務所が



サイクリングロード

八月上旬に補修工事を実施する予定とのことである。旧南幼稚園と昭和橋間の道路整備は、今年度から実施したいと考えている。

消費税率の引き下げ

質問 不況の長期化、深刻化の最大の原因は個人消費の冷え込みではないか。現在の経済危機を打開するためには、消費税率を三パーセントに引き下げることが、最も強力なメッセージになると考えるが、見解を聞きたい。

答弁 消費税率の五パーセントから三パーセントへの引き下げという問題は、国の政策であるため、桐生市としては、法を守って行くと同時に、経済活性化政

策を注視していきたい。

休業・廃業等の実態

質問 繊維産業等の地場産業は大変厳しい状況にあるが、桐生市における転業・休業・廃業等の実態はどうなっているか。また、経営者の高齢化に伴う後継者問題等については、どう取り組んでいるか。

答弁 平成十二年度は、全業種で転業六件、休業十件、廃業五十八件という状況であり、資金繰り安定のため、融資条件の見直しを

行う等、制度融資の充実を図っている。また、後継者問題等についても、関係団体の事業等を支援することにより行っている。



桐生のまち

市民の声の反映

質問 市民の声を市政に反映させることが求められるが、「委員会」には市民が入っているか。また、入っていない市民の声はどうなっているか。さらに、受ける側の職員の専門的資質と意識の向上のための取り組みはどのようなか。

答弁 市民団体組織の代表の参加や委員の公募、あるいはアンケートの実施等政策形成の段階から市民が参加できるように心掛けています。郵送での投書、投書

箱、Eメール等も行っている。また、職員の資質や意識の向上については、職員の自己研鑽の指導や、研修会への派遣等を行っている。

箱、Eメール等も行っている。また、職員の資質や意識の向上については、職員の自己研鑽の指導や、研修会への派遣等を行っている。



現在のおむつ取り替え場所

親子に優しい市庁舎

質問 親子にやさしい市役所庁舎づくりのため、乳幼児を連れた母親が子供と一緒に安心してトイレを使用できるように、庁舎一階のトイレの壁面に、折りたたみ式おむつ取り替え台を設置することができないか。

答弁 現在設置されているおむつ取り替え場所は、トイレから遠く、臭気等で周囲に迷惑をかけているので、今後関係各課と協議し、対応したい。

就職に対する支援

質問 ここ数年の就職状況は厳しいものがあるが、地元企業に優秀な人材を紹介するためにどのような支援をしているか。また、失業者に対する再就職に必要な技術習得の場の提供や雇用情報の提供はどうなっているか。

答弁 厳しい就職状況への対応と優秀な人材の地元企業への確保を図るため、大学卒業生等を対象とした「桐生市合同企業面接会」を開催する予定である。ま

林道梅田小平線

質問 林道梅田小平線の進捗状況はどうか。大間々町地区から川内町・梅田町地区に全線が接続するのはいつか。

答弁 大間々町小平地区と川内町赤柴地区は三か年程度で接続する予定である。大間々町地区から川内町・梅田町地区への全線の接続は、桐生工区が十七パーセント、大間々工区が八十九パーセントの進捗率であり、まだ相当の年数がかかるものと考えている。



桐生市合同企業面接会

グリーン購入法

質問 今年四月に施行されたグリーン購入法（環境物品調達推進法）に基づき、



エコマークの紙

国は「環境物品等の調達の推進を図るための方針」を定め、県もグリーン購入指針を策定中であるが、桐生市における取り組みはどうなっているか。

答弁 すでに、印刷物や複写機用消耗品等に、資源の再利用を図るエコマーク製品等の利用を進めているが、国・県の方針内容を十分検討し、桐生市の実情に即した調達方針の策定に努めたい。

選挙公報の発行

質問 現在は、政策重視

の選挙が求められており、「選挙公報」の必要性が高まっている。県内でも、館林市等では選挙公報の発行に向けて動いているようであるが、市民の投票意識を高めるために、桐生市でも発行すべきではないか。

答弁 県内十一市で組織する群馬県都市選挙管理委員会連合会でも研究を行っているが、現状では管理執行上解決しなければならぬ問題が多いため、さらに研究を重ね、実施に向けて検討していきたい。



市役所

巨額の納税の経過

質問 平成四年度に、特殊要因によって巨額の納税があったわけだが、この税

収のその後の経過はどのようなものか。また、桐生市ではどのような対応をしているか。

答弁 平成四年十一月に納税者から国税不服審判所に審査請求があり、平成六年の判決の結果、一部認容されたため還付を行った。その後、さらに判決を不服とし、平成七年には東京地裁に提訴、平成九年には東京高裁に控訴、平成十一年六月には最高裁に上告し、現在、国と係争中である。桐生市としては、国税当局の動向とその情報収集に努

め、推移を注視している。

生活保護の実情

質問 デフレの中、日本経済はたいへん厳しい環境にあり、生活困窮者のセーフティネットとしての公的扶助が重要であると思うが、生活保護の実情はどうか。

答弁 本年四月末日現在で、桐生市の保護率は四・七パーミルで、前年同月比で四十三人、〇・四パーミル増加している。なお、県内他市も同様に増加傾向を示している。

名誉市民条例

質問 昭和四十三年三月に、桐生市名誉市民条例が施行されたわけだが、同条例に基づいて、現在までにどのような人が名誉市民の称号を受けたのか。また、名誉市民にはどのような処遇があるか。

答弁 昭和四十八年に前原一治様、昭和五十二年に森喜作様、昭和五十一年に荒木敏一郎様と佐々木元吉様、昭和六十一年に長谷川四郎様と川村佐助様、そして小山利雄様の七人である。

なお、名誉市民としての処遇には、年金の贈呈、市の記念行事等への案内、市民葬儀の執行等がある。

学校適正規模・配置

質問 小中学校の適正規模・適正配置については、三月定例会でも質問をしたが、その後、PTA連絡協議会から要望書が提出されたようであるが、新年度に入って何らかの動きがあったのか。

答弁 教育委員会内部に検討委員会を組織し、適正



元気に勉強する子供たち

規模・適正配置検討委員会の答申で指摘された事項を検討しているが、付随する課題が多く、また結論を出す段階ではない。

介護保険料の減免

質問 昨年の十二月定例会において、無年金者等の理由によって介護保険料の減免の相談を継続している

ケースが五件ほどあるとの答弁があったが、現在はどういう状況か。また、他市町村では保険料の減免を実施しているところもあると聞くが、桐生市でも減免制度を生かす施策を実施すべきではないか。

答弁 質問のケースは、調査の結果、減免には至らなかったため、現在までに



渡良瀬川

廃棄物の処理施設

質問 勢多郡東村に医療系廃棄物の中間処理施設を建設する計画があるが、渡良瀬川の上流域であり、桐生市民の飲料水に関わる問題である。同施設は本当に安全なのか。

答弁 処理施設は排水を出さないことで、河川に排水が流れ込むことはないと言っている。また、今後の事前協議等の中で、東村や県によって、施設の安全性が十分にチェックされるものと考えている。

児童殺傷事件の対策

質問 大阪府池田市の児童殺傷事件のようなことが二度と起きないように、退職警官等を活用したスクールポリスシステムの導入、各教室への非常ベル・防犯カメラの設置、児童・生徒全員への緊急通報装置の配付等の対策を提案したい。

答弁 スクールポリスについては、教職員や市民団体等の協力による巡視が第一義と考えるが、今後研究したい。非常ベルについては、火災報知機の活用を図



非常ベルとして活用する火災報知機

りたい。防犯カメラは検討課題としたい。緊急通報装置については、児童・生徒全員が携帯することは難しいが、全教師に防犯ベルを

所持させたいと考えている。

低入札価格調査制度

質問 本年四月に公共工

事入札契約適正化法が施行され、入札契約の適正化を図るための努力目標として適正化指針が示されたが、その中で、「低入札価格調査制度」の活用が求められている。同制度の導入をどう考えているか。

答弁 これから適正化指針を検討する中で、低入札価格調査制度の活用についても研究したい。

歴史教科書の検定

質問 先般、新しい歴史教科書を作る会のメンバーが記述した中学校歴史教科書が国の検定に初めて合格したが、中国・韓国等から相当厳しいクレームがつき、世間でも話題となっている。私は日本人の教育は日本の主権の問題であると考え、同歴史教科書の検定合格について、教育委員会の見解を聞きたい。

答弁 教科書検定は国の制度であるため、教育委員会としては言及する立場に



歴史教科書

ない。なお、教科書の採択にあたっては、国の検定制度を考慮しつつ、内容・分量・程度等をよく吟味して選定を行いたい。

市町村合併の推進

質問 地方自治体にとって合併は避けて通ることのできない課題であるが、合併特例法は二千五年三月末までの期限立法である。市長が中心となって、早急に具体的な推進を図るべきではないか。

答弁 目標は二千五年であるが、それ以前に、広域圏の各市町村が抱えている問題点を処理し、合併した時にお互いに負担が少ないようにしておきたい。

児童殺傷事件の対応

質問 大阪府池田市で起きた児童殺傷事件によって、児童・生徒そして保護者は大きな不安を抱えていると思うが、不安を取り除くための学校としての取り組みを聞きたい。

答弁 児童・生徒には、臨時全校朝会等を行い、地域全体で守っていること等を説明した。保護者には、来校者への言葉かけの励行やパトロール等の具体的な方策について通知した。

北関東産官学研究会

質問 産・学・官の連携については、他市に先駆けてさまざまな事業に取り組



北関東産官学研究会設立総会

み、すでにその成果も現れてきているところだが、これからの産・学・官連携の中心になると思われる「北関東産官学研究会」の設立趣旨等を聞きたい。

答弁 時代をリードする産業を創出し、地域産業の活性化を目指して事業を進めることを目的としており、将来的には、TLO（技術移転機関）の設立を視野に入れ、北関東地域の大学教育と地域産業の活性化に寄与しようとするものである。

子育てサポート事業

質問 近年の核家族化等に伴い、子育てに悩みや不安を抱える親が増えており、子育ての相談等を行う子育てサポート事業の重要性が高まっているが、桐生市における現況はどうか。

答弁 相生保育園内の地域子育て支援センターのほか、私立保育園三園を小規模型地域子育て支援センターとして追加し、事業の拡大を図っている。また、本年二月からは、移動子育てサロンも実施している。

工業団地周辺の渋滞



(仮称)相生西工業団地

質問 (仮称)相生西工業団地周辺では、工業団地で働く人が増えるとともに、

周辺道路の交通渋滞がひどくなっている。桐生市と大間々町では、工業団地から大間々町に抜ける道路を整備中であるが、交通渋滞を緩和するためにも早急な完成が望まれる。現在の整備状況はどうか。

答弁 桐生市では約二百五十メートルのうち約百三十メートルを整備し、大間々町では約三百五十メートルのうち約百四十四メートルを整備している。今後は行政界付近の工事になることから、大間々町と協調し、整備を進めていきたい。

自治組織の会則規則

質問 市内の自治組織では、会則・規則を持っているところは少ない。現代的組織の基本を欠いていると思われるが、市としても、会則・規則を設けるよう助言すべきではないか。

答弁 自治会の充実を図るために、区長連絡協議会では、講演会の開催、ハンドブックの配付等を行い、区長と町会長の代表で構成する自治会組織研究会を立ちあげ、自治会のあるべき姿を研究しており、市とし

ても、環境整備等の手伝いをしていきたい。

競艇施設借り上げ料

質問 競艇施設借り上げ料の引き下げ交渉の現状を聞きたい。また、花火大会の中止について、事実経過を確認したい。

答弁 施設借り上げ料の交渉は、交渉のテーブルにつかない状況であり、六月五日には、再度、関東開発(株)にお願い文書を提出した。六月十二日には、市長が酒井社長と面談してい

る。花火大会の中止は、競艇関係三団体から中止の意思表示があり、協議の結果中止もやむなしとの結論となったものである。



桐生競艇場